

# 平成 27 年度 事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日)

## [公 1] 吉川英治賞の授与

### (イ) 吉川英治文学賞

吉川英治文学賞は平成 27 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに優秀な文学作品を発表した作家に授与しました。(第 50 回)

- ・選考委員…浅田次郎、五木寛之 北方謙三 林真理子 平岩弓枝 宮城谷昌光
- ・賞…正賞・賞牌/副賞・金参百万円
- ・選出方法

候補者の選出に遺漏のないよう、作家、画家、批評家及び各出版社の編集長、新聞社学芸部長・文化部長、ラジオ・テレビ・映画関係者、一般文化人等数百名の方々に文書で推薦を依頼しました。

推薦された作家は別に定めた本会の実施委員によって整理のうえ、数名を審議対象として選考委員会に提出し、選考委員は慎重審議の結果、次のように決定しました。

- ・本年度受賞者  
赤川次郎氏『東京零年』(集英社刊)

### (ロ) 吉川英治文庫賞

吉川英治文庫賞は平成 26 年 12 月 1 日から翌年 11 月 30 日までに、文庫最新刊が刊行された作品のなかから、5 巻以上の複数巻で文庫を刊行している、最も優秀な大衆シリーズ文学作品を発表した作家に授与しました。(第 1 回)

- ・選考委員…各出版社の代表者(各社 1 名)、識者、出版流通関係者等(約 50 名)
- ・立会人…森村誠一、前年受賞者(本年は理事長)
- ・賞…正賞・賞牌/副賞・金百万円
- ・選出方法

候補者の選出に遺漏のないよう、各出版社の代表者(各社 1 名)、識者、出版流通関係者等(約 50 名)に選考委員を依頼しました。

推薦された作家は事務局にて整理し選考委員に投票を依頼、数名を審査対象として事前に一般公表し、選考委員は慎重審議の結果、次のように決定しました。

- ・本年度受賞者  
畠中恵氏『「しゃばけ」シリーズ』(新潮社刊/新潮文庫)

### (ハ) 吉川英治文学新人賞

吉川英治文学新人賞は平成 27 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに新聞、雑誌、単行本等に優秀な小説を発表した作家の中から、最も将来性のある新人作家に授与しました。(第 37 回)

- ・選考委員…伊集院静 大沢在昌 恩田陸 京極夏彦 高橋克彦
- ・賞…正賞・賞牌/副賞・金百万円
- ・選考方法

候補者の選出に遺漏のないよう、作家、画家、批評家及び各出版社の編集長、新聞社学芸部長・文化部長、ラジオ・テレビ・映画関係者、一般文化人等数百名の方々に文書で推薦を依頼しました。

推薦された作家は別に定めた本会の実施委員によって整理のうえ、数名を審議対象として選考委員会に提出し一般にも公表、選考委員は慎重審議の結果、次のように決定しました。

- ・本年度受賞者  
薬丸岳氏『Aではない君と』（講談社刊）

#### (ハ) 吉川英治文化賞

日本文化の向上に尽くし、讃えられるべき業績をあげながらも、報われることの少ない人、あるいは団体に授与しました。(第50回)

- ・選考委員…阿川佐和子、出久根達郎 堀田力 柳田邦男 吉川英明
- ・賞…正賞・賞牌／副賞・各金百万円
- ・選考方法

候補者の選出に遺漏のないよう広く文化人、各出版社の編集長、新聞社学芸部長・文化部長・報道部長、ラジオ・テレビ関係者、ならびに中央官庁、政府関係機関、公共企業体、地方公共団体等の関係者に文書で推薦を依頼しました。

推薦された候補者は別に定めた本会の実施委員によって整理のうえ、選考委員会に提出し、選考委員は慎重審議の結果、次のように決定しました。

- ・本年度受賞者  
嘉瀬誠次氏 「長岡市の花火師として世界を感動させる」  
玉井義臣氏 「あしなが育成会で恵まれない子どもたちを支援」  
鶴丸礼子氏 「障害者用服のデザイン、普及に努める」  
以上、吉川英治文学賞、吉川英治文庫賞、吉川英治文学新人賞、吉川英治文化賞は「吉川英治賞」として、平成28年4月11日帝国ホテルで贈呈式を実施しました。

#### [公2] 吉川英治著作資料他の保存公開

故吉川英治が日本文化に及ぼした偉大な功績を記念して、近代文学に関する資料を収集保管し、かつ展示して一般の利用に供し文化の発展に寄与するため、記念館において資料の公開をしました。

- ・本年度入館者数 5,405名(対前年比91.1)

#### 〈■常設展・企画展について〉

- ① 平成27年[春季]〈27年3月1日(日)～5月31日(日)〉
  - ・常設展：『吉川英治と幕末維新』展 展示  
(英治自身にまつわる幕末維新のエピソードと幕末維新小説を紹介。)
  - ・企画展：「雅号と落款\_英治の心を伝える小さな世界」
- ② 平成27年[秋季]〈9月1日(火)～11月29日(日)〉
  - ・常設展：『新・平家物語』を中心に 展示  
(春季の予定が、杉本美術館の吉川展に3ヵ月資料貸与のため秋季に移動。)
  - ・企画展：「夫婦神像完成記念\_吉川英治の夫婦像」(9月27日迄)  
(彫刻家伊藤光治郎より寄贈。PPVのため伐採した“夫婦梅”材を使用)
- ③ 平成28年[春季]〈3月1日(火)～5月31日(火)〉
  - ・常設展：「スターでたどる吉川作品」展示

〈■主催・協賛イベントについて〉

- ① 平成 27 年（4/4・5、6/27・28、7/4・5、3/26・27 の 8 日間）  
「旧吉川邸を隅から隅まで見てみよう」[一般公募、各回平均 14 名参加・会費 6 百円  
入館料、資料代含]
- ② 平成 27 年 4 月 18 日（土）「第 7 回草思堂落語会」  
文子夫人を偲ぶ落語会。嘶家・柳家禽太夫。[一般公募、参加者 41 名、会費 2 千円]
- ③ 平成 27 年 6 月 6 日（土）「第 8 回文学散歩・終焉の地・赤坂を歩く」〈中止〉  
戦前から吉川英治の居住していた地を探訪。[一般公募、応募者 2 名のため中止]
- ④ 平成 27 年 9 月 6 日（日）「英治忌」（7 日の命日が休館日のため前日実施）  
英治の命日の集、母屋他を公開して抹茶・樽酒・冷茶を提供。[参加者一般入館者]
- ⑤ 平成 27 年 10 月 3 日～25 日「第 18 回写真コンテスト入賞者作品」（館内）[一般公募、  
入賞作品館内展示。
- ⑥ 平成 27 年 10 月 17 日（土）「吉川英治文学賞受賞作家を囲むひととき」（協力/講談社）  
第 49 回吉川文学賞受賞者逢坂剛氏の講演。[一般公募、参加者 34 名・会費 1 千円]
- ⑦ 平成 27 年 10 月「草思堂菊花展」（協賛/会場提供）[一般公開、入館者]  
「吉川記念館館長賞」他 3 賞の協賛。
- ⑧ 平成 27 年 10 月 17 日～11 月 15 日「アートプログラム青梅」（協賛/会場提供）  
青梅に関連のある芸術家による企画。[参加者一般入館者]
- ⑨ 平成 27 年 12 月 5 日（土）「第 8 回文学散歩・終焉の地・赤坂を歩く」6 月再企画  
戦前から吉川英治の居住していた地を探訪。[一般公募、参加者 17 名、会費 8 百円]
- ⑩ 平成 28 年 2 月 4 日～10 日「第 18 回写真コンテスト作品展（都内展）」（於四谷、協力/  
日本写真文化協会、堀内カー）  
本年度入賞作品及び、最終回にあたり歴代入賞作品の館外展示。（一般公開）
- ⑪ その他

〈■資料の補修関係について〉

- ・原稿資料の脱酸処理はありません。（平成 26 年に資料庫内燻蒸実施）

〈■営繕について〉

- ・記念館庭内の蔵床面に白蟻発生のため、床板張り替え及び薬剤散布。

[収 1] 「音羽 Y F ビル」の賃貸事業

公的目的事業推進達成のための不動産（事務室ビル・駐車場・広告塔）の賃貸事業を下記のとおり実施しました。

賃貸状況

- ・ビル所在地： 東京都文京区水道 2-9-2（地上 8 階地下 1 階）
- ・ビル竣工： 平成 2 年（築 26 年）
- ・事務室賃貸： キングレコードグループ（全室）継続
- ・駐車場： 同上（3 台）継続
- ・広告塔： 三井住友ファイナンス&リース（1 件）平成 28 年 2 月で契約終了。  
キングレコード（1 件）継続

## 修繕状況

- ・平成 27 年 9 月 ビル地下 EPS 内の防水シート交換（ウォーターブロックオングシート 30）
  - ・平成 27 年 10 月 ビル 2 階空調機の更新工事
  - ・平成 27 年 11 月 ビル地下機械室の漏水止水工事一式
  - ・平成 28 年 3 月 ビル入り口脇の連結送水管耐圧試験（3 年毎）
- その他

## 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 特定資産運用益	64,813	
② 事業収益		
文学資料ほか公開事業収益	2,993,895	
不動産貸付事業収益	52,693,465	
事業収益計	55,687,360	
③ 雑収益	689,526	
経常収益計	56,441,699	
(2) 経常費用		
① 事業費		
吉川英治賞事業費	25,089,518	
文学資料ほか公開事業費	28,607,553	
不動産貸付事業費	15,327,097	
事業費計	69,024,168	
② 管理費	735,999	
経常費用計	69,760,167	
当期経常増減額	△ 13,318,468	
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	6,044,328	
(2) 経常外費用	0	
当期経常外増減額	6,044,328	
法人税・住民税及び事業税	70,000	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 7,344,140	
一般正味財産期首残高	1,068,973,461	
一般正味財産期末残高	1,061,629,321	
II 指定正味財産増減の部		
一般正味財産への振替額	△ 6,044,328	
当期指定正味財産増減額	△ 6,044,328	
指定正味財産期首残高	170,159,296	
指定正味財産期末残高	164,114,968	
III 正味財産期末残高	1,225,744,289	

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I 資金の部		
1 流動資産		
流動資産合計	47,053,507	
2 固定資産		
(1) 基本財産	43,072,916	
(2) 特定資産	173,745,523	
(3) その他固定資産	1,005,678,952	
固定資産合計	1,222,497,391	
資産合計	1,269,550,898	
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計	1,255,089	
2 固定負債		
固定負債合計	42,551,520	
負債合計	43,806,609	
III 正味財産の部		
1 指定正味財産		
(うち基本財産への充当額)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	
指定正味財産合計	164,114,968	
2 一般正味財産		
(うち基本財産への充当額)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	
一般正味財産合計	1,061,629,321	
正味財産合計	1,225,744,289	
負債及び正味財産合計	1,269,550,898	